

2022 年度(令和 4 年度)事業計画書

(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

1、事業活動の方針

2022 年は新型コロナのオミクロン株の感染拡大で幕を開けました。全国で蔓延防止措置が取られましたが、3 月には措置を解除し、感染対策を取りながら少しずつ社会生活を取り戻していく方向に向かっているようです。本年度は With コロナでのあらたな社会生活のあり方を模索していくことになりそうです。

ゼロ歳から百歳まで安心して暮らしていけるまちづくりを目指してきた当会の活動は、昨年 10 月に開設された「HALEたちばな」事業として、一歩歩み出しました。医療的ケア児の支援のニーズは、予想を超えて県内からの依頼、相談の件数が増えています。手探り状態での体制づくりから、本年度は、医療、看護、介護の専門性をもって提供するという共通基盤を確かなものにして、一人一人の尊厳ある生き方を支えるケアを充実させます。それを担うため新規採用したスタッフも含めて職員数が全体で 70 名ほどの所帯になりました。本年度は、就業規則などを見直し、職員が働きやすい職場づくりを目指します。

「ホームホスピスカあさんの家」は、新型コロナの感染防止対策を取りながら、ご家族との「つながり」を絶やさないように工夫し、ご家族が納得の看取りができるように支援します。また、2 月より生目台東の「ささえあい生目台安庵」を吸収しました。かあさんの家は、合わせて 4 軒で定員数は 20 名になりました。同じホームホスピスの基本理念で個別ケアを充実させ、With コロナ時代にあって求められる当たり前の生活を守るため、知識とスキルをつけ、実践していきます。懸案事項である介護スタッフの人員の充足を図ります。

1998 年より継続しているボランティア活動や教育プログラム事業を今後も推進していきます。「がん患者サポーター養成研修会」、「これからライフデザイン塾」「市民公開講演会」などの研修事業は、感染予防対策を取りながら、オンラインと併用しての開催となります。

暮らしの保健室は、「ゆるりサロン」、「えがおキッチン」や「セルフお灸教室」「ゆるり短歌会」など、いずれも感染防止対策をし、少人数で密を避ける方策で実施します。「宮崎県がんサポート事業・ふらっとカフェ」は県健康増進課と連携しながら、新築なった宮崎県立病院会議室での開催となりますが、病院での開催が困難な場合は、暮らしの保健室に会場を変えて実施する方向です。本年度は、若い世代のがん患者への支援、や就労支援などの情報をつなぐ役割を探します。

全国ホームホスピス協会とも連動しながら、ホームホスピスケアの質の向上を目指します。コロナ感染拡大で、医学生、看護学生、その他の見学者などの制限が続いていますが、感染状況を判断しながら、実習生を受け入れる体制を模索します。

HALEたちばなの開設、安庵の合併など、2021 年度は事業が大きく拡大しました。経営の安定化はますます重要な課題です。認定 NPO としての社会的な目的を果たしつつ、収益の多様化や効率化を実施していくことも 2022 年度の大きな目標です。

2、事業の実施に関する事項(今年度は次のような項目を重点的に実施します。)

1) 在宅ホスピス支援センター事業 (ホスピスボランティア事業)

(1) 患者らいぶらり

実施日時：毎月第3木曜日 14:00～16:00 (現在休止中)

場 所：古賀総合病院 中央4F病棟 東棟3F病棟産婦人科

内 容：病棟の図書管理、整理

担 当：峰 瑞枝

(2) 宮崎聞き書き隊

実施日時：毎月第2日曜日 10:00～12:00

場 所：暮らしの保健室

内 容：依頼のあった方を聞き書きする

聞き書き例会の開催 (第2日曜日)

他団体の聞き書き活動のサポート

担 当：井上 直敬

(3) 緩和ケア病棟園芸ボランティア

実施日時：毎月第1・第3水曜日 10:00～12:00 (現在休止中)

場 所：宮崎市郡医師会病院 緩和ケア病棟 中庭

内 容：緩和ケア病棟の庭園の花の管理等

担 当：村中 伸子

(4) かあさんの家ボランティア

実施日時：随時

場 所：ホームホスピスカあさんの家

内 容：庭の手入れ(ご家族)

ボランティア実習(看護学生)

担 当：久保野 イツ子

2) 人材養成のための教育プログラム

(1) これからライフデザイン塾

「聞き書き講座」

期 日：2022年7月10日

会 場：HALE たちばな たちばな学舎

講 師：小田豊二 氏

(2) ホスピスケア市民公開講演会「在宅医療という希望」(令和4年度 宮崎市在宅療養相談事業)

「これからの医療・介護との上手な付き合い方」

期 日：未定

会 場：未定

講 師：吉村 学 氏(予定)

(3) がん患者と家族のためのサポーター養成講座(宮崎県がんサロン等運営支援事業業務委託)

「AYA世代がん患者さんへのサポート」

期 日：2023年(令和5年)1月予定

会 場：未定

講 師：鈴木 美穂 氏

3) エンドオブライフケア支援事業

(1) 暮らしの保健室

「地域に開放した暮らしの保健室を目指して」

地域との連携…赤江まちづくり推進委員会・赤江北包括支援センター

暮らしの保健室だより 年12回

①ゆるりサロン

- ・要介護者、要支援でもなく、自分の身の回りのことはできるが、日中は一人暮らし。共に集って、一緒にランチ食べてお茶の間的な居場所となっている。
- ・地域包括ケアセンターとも連携を取りながら、ゆっくりした時間と空間を提供する。

実施日時：毎週月・水曜日 13:00～15:00

場 所：暮らしの保健室

内 容：健康体操、パットワーク教室、季節の行事など

担 当：南谷 佳子

②陽だまりカフェ(宮崎市認知症カフェ運営補助金)6月～

実施日時：第2、第4土曜日 10:00～12:00

場 所：暮らしの保健室

担 当：橋口 英治

③えがおキッチン

実施日時：年3回(不定期)

講師：松井 康代

④セルフケアのためのお灸教室

実施日時：年3回(不定期)

講師：園田 清美

⑤AYA 世代お茶会

実施日時：年12回

内容：AYA 世代患者会への支援

担当：太田 幸子

(2) ふらっとカフェ (がんサロン事業宮崎県委託)

- ・がん患者団体等との情報交換 (AYA 世代患者会など)

主催：宮崎県

運営企画：ホームホスピス宮崎

実施日時：毎月第2水曜日 13:30～16:00

場所：県立宮崎病院 会議室(がん拠点病院)

担当：太田 幸子

(3) 宮崎市在宅療養支援事業 (宮崎市補助事業)

- ・随時病気や介護の相談を受ける
 - ・HALE たちばな相談カフェや外部専門家との連携①在宅療養でんわ相談室
- 相談担当：理事長・看護師・保健師・事務局

4) ホームホスピスかあさんの家事業

(1) かあさんの家の運営

○かあさんの家・曾師 ○かあさんの家・霧島

○かあさんの家・月見ヶ丘 ○かあさんの家・安庵

統括マネージャー：久保野イツ子

- ・介護スタッフの充足を図る。そのために多様な働き方に対応する環境整備を行う。
- ・家族会の充実と交流会の開催。
- ・運営の安定を図る。
- ・介護保険と障がい福祉サービスの検討。
- ・職員のケア水準の向上とスタッフの増員は課題であるため、求人募集の工夫を続ける。

(2) 訪問介護ステーションぱりおん（医療・介護保険規定による事業）

- ・ホームホスピスカあさんの家へスタッフ派遣

管 理 者：甲斐 昌江

【スタッフ研修】

- ・スタッフ会議及びカンファレンスを通して、ケアの理念を共有する。
- ・防災訓練（備蓄、消火訓練、避難訓練）・感染症対策
- ・口腔・栄養管理の強化・薬についての知識を学ぶ

【医療・介護サービス事業所との連携】

- ・かかりつけ医、訪問看護ステーション、訪問薬局、訪問歯科との連携。訪問リハ、福祉用具、デイサービス、デイケア、入浴サービスなどの介護保険のサービス事業者との連携

【外部研修】

- ・ホームホスピス実践者育成塾の受講
期日：2022年7月1,2日
会場：石川県小松市
- ・第11回ホームホスピス全国合同研修会の受講
期日：2022年10月29,30日
会場：北海道札幌市

5) HALE たちばな

(1) 休眠預金等活用事業

- ・2021年度より休眠預金を活用した「社会的孤立解消のための事業」に取り組んでいる。
- ・対象者は、HALE たちばなの leilei、ohana を利用する子ども達のご家族（主に母親）。

- ①コミュニティカフェを活用した様々な専門家による相談カフェの実施
- ②研修ルームを活用したクラフト教室やヨガ教室などの定期開催
- ③製作されたクラフト作品などの販売サポート
- ④全国の先進的な取り組みとの連携
- ⑤SNS やリモートミーティングシステムを利用した交流や SOS ネットワークの構築
- ⑥福祉避難所としての設備の整備
- ⑦これらの取り組みを実施、運営するための事務局体制の整備を3年間の計画で実施する。

この事業は、2023年度までの3年間の事業で、事業に関わるスタッフの人件費、備品費、セミナー等の講師謝金などが助成される。

（2）たちばな学舎・コミュニティカフェ游椿の利用

①たちばな学舎

- ・宮崎大学と連携した研修施設として開設。
- ・カルチャー教室を開催したり、多目的スペースとしての一般貸出も可能。

②コミュニティカフェ游椿

- ・ケアルームやオストメイト対応トイレを備えたカフェとして開設。
- ・営業は、外部の方と委託契約を結んでの運営。

（3）難病の子どもと家族を地域で支える取り組み（日本財団助成金）

医療的ケア児を取り巻く様々な社会問題を市民に知っていただくための「地域交流イベント」などを実施する。

①講演とコンサートの実施

実施日時：2022年12月3日（土）

会 場：MRTmicc

講 演：静岡きょうだい児の会 沖会長

コンサート：宮里陽太バンド

②ケアスタッフ研修

先進地域でのスタッフ研修を実施

- ・情報発信
ニューズレター、ホームページ、パンフレット製作

（4）医療・介護保険規定による事業

①みつばち診療所

内科・小児科・在宅医療（在宅療養支援診療所）

院 長：楠元 恭子（家庭医療専門医）

- ・24時間体制で、子どもから大人まで総合的に診療。
- ・在宅医療と週1日（木曜夕方）の外来日を設けている。
- ・地域医療・総合診療医学講座（吉村学教授）と連携し、家庭医療・総合診療・地域医療に関する質の高い臨床実践教育の場としての役割

②訪問看護ステーションぱりおん

訪問看護ステーションサテライトぐりーん

所 長：堤 育子

- ・重度の障害がある小児の在宅療養を支える。
- ・療養通所介護、短期入所、日中一時支援事業の運営
- ・看護学生の実習受け入れ
- ・0歳から100歳までの医療充実のためのまちづくりを目指して、ネットワークをつくる。
- ・宮崎小児在宅療養を支える会の運営

③日中一時支援 ohana

管 理 者：川越 やよい

- ・障害や医療的ケアの必要な子どもの日中一時預かり事業（定員5名～火水は10名）。
- ・月～金（9時～18時）
- ・送迎あり

④共生型短期入所(福祉型強化)施設 leilei

管理者：広瀬 知佳

- ・医療的ケア児や重症児のための福祉型強化短期入所事業（5床）。
- ・木～月（15時～翌17時）、最長2泊3日
- ・木～土は送迎あり

6)ホームホスピス推進研修センター事業

- (1) ホームホスピススキルアップ研修（全国ホームホスピス協会より委託）

- ・「ホームホスピスの学校」受講生の受入機関として、研修内容を組み立て計画に添って、指導や相談に乗りながら、ホームホスピス立ち上げまで助言指導する。
- ・1名～2名の受け入れ

(2) 実習の受け入れ

- ・医学生・看護学生・介護職の実習の受け入れが、昨年度より、新型コロナウイルス感染予防のため休止となっている。今年度の見通しは難しいものがあるが、感染予防を徹底しながら、実習計画を立て、かあさんの家での実習を指導。

(3) 一般社団法人全国ホームホスピス協会（全国ホームホスピス協会事務局業務委託）

担 当:黒岩 雄二・岡田 瑞穂・岩切 知峰

- ・第6回ホームホスピス実践者育成塾の開催

期 日:2022年7月1、2日

会 場:石川県小松市

- ・第11回ホームホスピス全国合同研修会の開催

期 日:2022年10月29.30日

会 場:北海道札幌市

- ・ホームホスピスの学校(第3期・4期)

ホームホスピスをつくりたい、ホームホスピスのケアを学びたい人のための講座
オンライン授業・実習

7) 研究・啓発・情報・広報

(1) 認定NPO 寄付文化の醸成

- ・賛助会員を増やす
- ・HPで賛助会員や寄付の呼びかけ
- ・ファンドレイジングの活用
- ・助成金の申請

認定ファンドレイザー 黒岩 雄二

準認定ファンドレイザー 岡田 瑞穂

(2) ホームページ SNS の充実・報道

①ホームページ SNS

- ・ホームページの運営(HHM・HALE たちばな)
- ・Facebook、Twitter、Instagram
- ・ニュースレター(年2回発行)
- ・暮らしの保健室だより(年12回発行)

②報道

- ・研修会などの事業の広報を、報道機関、関係団体へ依頼する。

- ③講師派遣,見学及び研修の受け入れ
- ・大学講師派遣、学会などへの講師派遣
 - ・見学・現場実習等受け入れ
 - ・研修医の受け入れ(平塚共済病院研修医2年目)
 - ・他施設職員現場研修の受け入れ
- 但し、いずれも、コロナ感染の状況次第である。

8) 助成・寄付

- (1) 日本財団…難病支援事業助成
- (2) 休眠預金

9) 組織運営

- (1) 会議の業務
 - ・定時総会の開催
期 日:5月28日(土)13時30分～15時
会 場:暮らしの保健室
 - ・理事会の開催(年3回予定)
 - ・事務局会議の開催
- (2) 会員管理業務
- (3) 経理業務
- (4) 労務管理業務
就業規則を見直し、適切な労務管理、
多様な雇用体制の検討
- (5) 総務関連業務・届出等

《事務局職員体制》

【本部】

事務局長:黒岩 雄二

経理担当:2名 総務担当:2名

【HALE たちばな】

事務長:小川 博司

事務:4名